

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成29年3月17日 VOL. 31

今 地域包括ケアシステムの推進に 薬剤師が熱い！！

地域包括ケアシステムを推進し充実させるための地域の課題を分析した結果、

①在宅療養している人が薬の自己管理ができなくて残薬の問題が起きている

②複数の医療機関への受診により、薬剤の重複処方や禁忌の問題処方が見受けられる

などの薬剤に関する課題を確認し、藤枝市立総合病院薬剤師や一般社団法人藤枝薬剤師会とともに、多機関が協働して課題解決に向けて取り組んでいます。

地域医療と介護・福祉をつなぐ会



平成29年2月23日（木）に開催した地域医療と介護・福祉をつなぐ会（主催：藤枝市立総合病院地域医療連携センター）では「病院と地域の薬剤師の連携、訪問薬剤管理指導について学ぶ」をテーマに、薬剤師やケアマネ・看護師など多職種82人が参集した研修会とグループワークを行い、職種間理解と、多機関の連携の必要性について確認しました。

訪問薬剤指導会議

守れ腎臓！ ふじえだCKDネット



平成29年3月13日(月)第10回目の会議（主催：地域医療連携センター）で、実績確認と評価を行いました。これは平成28年3月1日に運用を開始、12月にマニュアル冊子を刊行し、志太医師会・藤枝薬剤師会・市立総合病院(薬剤・栄養・看護・腎臓専門医・地域医療連携室)・市(健康推進課・国保年金課・地域包括ケア推進課)など、多機関多職種により実施している事業の連携と役割を確認し、推進しているものです。



訪問薬剤指導に係る打合せ会を平成29年3月15日(水)に行いました。(事務局：地域医療連携センター：地域包括ケアシステム専門会議作業部会)ここでは薬剤師や医師とともに在宅療養に精通したケアマネや訪問看護師・介護事業所の代表も出席し「薬剤情報伝達の様式」や「お薬手帳の活用」などを検討しました。これからは薬剤師を中心に多機関多職種で進めていきます。

地域が互助・自助をキーワードに動かだしています！！



代表者である井原さんを中心に広幡在住の看護職が地域貢献を始めます。

平成29年3月11日(土)広幡地区交流センターにおいて「広幡ヘルスサポートネットワーク」が発足しました。これは自治会が中心となり「広幡自治会のイベント参加者の健康をサポートする人たちによるネットワーク」として、地域の看護師資格を持つ人の会を上げたものです。発足会には自治会長・町内会長・保健委員・地域活動推進主任など約30人が参集しました。ネットワークはメンバー9人からのスタートですが、メンバーの人脈で主旨に賛同する協力者が増え、地域の大きな力になっていきそうです。